

平成22年度 事業計画(案)

● 基本方針

当財団は、本格的な高齢社会の到来に備え、高齢者をはじめとする県民の生きがいつくりと健康づくりを推進することにより、県民の社会活動の振興を図り、もって明るく活力ある長寿社会の実現に寄与することを目的に、平成3年に設立されました。

『健康いきいき 心ときめきー私たちは、あなたの「はつらつ人生」を応援しますー』をモットーに掲げ、高齢者の健康・生きがいつくり事業をはじめ、「静岡県介護実習・普及センター」及び「静岡県総合健康センター」の運営事業など、高齢者対策及び県民の健康づくりに総合的に取り組み、静岡県における高齢者対策の基本目標である「“すこやか長寿日本一”を目指して、共に支え合う安心社会の創造」の実現を目指します。

また、官民59団体で組織した「しずおか健康いきいきフォーラム21」の事務局を担い、健康づくり県民運動の推進を図ります。

第1 明るく活力のある高齢社会づくり推進事業

(67,393千円)

明るく活力のある長寿社会の実現に向けて、高齢者が家庭・地域・企業等社会の各分野において、それまで培ってきた豊かな経験と知識・技能を生かしながら、生涯を健康で生きがいをもって社会活動ができるよう、高齢者のスポーツ・文化活動、健康づくり活動及び地域活動の推進を支援する。

1 健康・生きがいつくり推進事業 (58,761千円)

(1) ニュースポーツ、地域スポーツ活動等普及促進事業 (2,343千円)

高齢者が健康で生きがいを持って社会活動ができるよう、ニュースポーツ等の普及を図るとともに、高齢者が主体に参加するスポーツや文化活動のうち、財団が定めた条件を満たす大会に「財団法人しずおか健康長寿財団理事長杯」を授与し、健康づくりと仲間づくりを支援する。

ア ニュースポーツ教室等への講師派遣

イ ニュースポーツ用具の貸出し

ウ 理事長杯等の授与

(2) 熟年メッセージ静岡大会開催事業 (3,716千円)

熟年世代がこれまで培ってきた経験や知恵をもとに、今後の自身の生き方や社会への呼びかけなどのメッセージを広く発信し、高齢社会文化の創造を目指す。

ア 開催日 : 平成23年1月(予定)

イ 会場 : 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ(予定)

ウ 内容 : 熟年によるメッセージ発表、講演

(3) すこやか長寿祭(スポーツ大会、美術展)開催事業 (13,926千円)

スポーツ大会／スポーツ等を通じて高齢者の健康づくり・生きがいつくりの促進と大会を通じて多世代間の交流促進を図る。

美術展／高齢者の文化芸術活動の促進と、創作活動を通して生きがいつくりを図る。

ア スポーツ大会 (9, 235千円)

開催日 : 平成22年4月17日(土)～6月27日(日)

(総合開会式: 5月22日(土))

会場 : 静岡県草薙総合運動場ほか

参加者 : 約7,000人

競技種目 : 27種目

(卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、なぎなた、太極拳、ソフトバレーボール、サッカー、ダンススポーツ、バウンドテニス、囲碁、将棋、ボウリング、軟式野球、ターゲット・バードゴルフ、オリエンテーリング、健康マーじゃん、オセロ、ウォークラリー、かるた(百人一首))

イ 美術展 (4, 691千円)

開催日 : 平成23年2月(予定)

出品部門 : 洋画・日本画・書・彫刻・工芸・写真の6部門

出品資格 : 県内在住の60歳以上のアマチュア

(4) 第23回全国健康福祉祭石川大会(ねんりんピック石川2010)選手団派遣事業

(19, 160千円)

石川県内で開催されるねんりんピック石川2010へ静岡県選手団を派遣し、スポーツ・文化交流大会や各種イベントなどへの参加を通じて、健康の保持・増進、社会参加の促進及び生きがいづくりの意識高揚を図る。

ア 大会名称 : 第23回全国健康福祉祭石川大会(ねんりんピック石川2010)

イ 主催 : 厚生労働省、石川県、(財)長寿社会開発センター

ウ 開催日 : 平成22年10月9日(土)～10月12日(火)

エ 開催場所 : 石川県内10市3町

オ 参加種目 : 22種目

(卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、なぎなた、ダンススポーツ、太極拳、ソフトバレーボール、サッカー、水泳、ラグビーフットボール、囲碁、将棋、健康マーじゃん、かるた(百人一首))

(5) 生きがい特派員活動推進事業 (3, 926千円)

財団と地域とのパイプ役として、財団事業に関する広報及び地域情報の収集・発信等を行うなど、事業推進のためのサポートシステムとして「生きがい特派員」を委嘱する。

ア 人数 : 10人

イ 活動内容 : ・市町、社会福祉協議会及び老人クラブ等との連絡調整、情報収集
・地域における中高年齢者社会参加活動グループに関する情報収集および健康・生きがい活動情報発信ホームページへの情報入力
・情報誌「すこやか長寿」の記事執筆
・財団主催各種イベントへの協力

(6) 元気高齢者啓発事業 (933千円)

高齢者が日常生活を積極的に活動的に過ごすために、「アンチエイジング」をキーワードにした健康づくり・生きがいがづくり講座を県内各地で開催する。

県内4ヶ所、合計12回 (予定)

(7) 健康・生きがいがづくり運営事務費 (4,429千円)

健康・生きがいがづくりの各事業を推進するための共通事務費

(8) 健康・生きがいがづくり推進人件費 (10,328千円)

健康・生きがいがづくりの各事業を推進するための人件費

2 地域活動推進事業 (4,472千円)

(1) 中高年齢者健康・生きがいがづくり交流促進事業 (2,240千円)

市町や社会福祉協議会等と連携し、認知症予防の普及啓発、軽運動・音楽などを取り入れた参加型の講座や健康筋力づくり講座など複数種類を組合せた講座を実施し、健康・生きがいがづくりに対する意識を高めるとともに参加者相互の交流を広げる。

ア 開催場所 : 県内10ヶ所程度

(2) 健康・生きがい活動情報発信ホームページ運用事業 (2,232千円)

中高年齢者が、地域社会の活動や行事、ボランティア・NPO活動などに参加しやすくするため、生きがい特派員が収集した地域情報・活動団体情報やイベント主催者等の投稿による講座情報などを発信するホームページ『健康いきいき 心ときめき』を運営する。

3 情報提供事業 (4,160千円)

(1) 財団情報誌「すこやか長寿」発行事業 (4,160千円)

高齢者を中心とした県民に向けて、生きがいと健康づくり等の各種情報を掲載した財団情報誌「すこやか長寿」を発行する。

ア 発行回数 : 年間4回

イ 発行部数 : 各12,000部

ウ 仕様 : A4版12ページ カラー印刷

エ 配布先 : 市町、県健康福祉センター、県地域支援局、県民生活センター、図書館、病院、公民館、老人福祉施設、「はつらつネットふじのくに」会員等

第2 静岡県介護実習・普及センター運営事業

(32,937千円)

各種介護講座の開催及び福祉用具の相談や高齢者介護に関する情報提供などを通じて、「高齢社会は県民全体で支えるもの」という考え方を県民に広く啓発する。

1 高齢者介護実習・普及事業 (14,832千円)

家庭における高齢者介護の仕方や福祉用具関連の各種講座を開催して、一般県民への介護知識、技術の普及を図ると共に、「高齢社会は県民全体で支えるもの」という考えを地域住民に広く啓発する。

(1) 介護実習・普及センター (8,294千円)

ア 高齢者介護に関する介護知識・技術講座 (7,480千円)

No.	講座名	内容	期間	定員
1	リクエスト講座	福祉用具の基礎知識や高齢者疑似体験など、要望に応じて実施する講座	1日間×40回/年間	30
2	出前講座			
3	はじめての介護基礎講座	基本的な介護技術・知識を学ぶ	4コース×2回/年間 ※1コース/1日間	30
4	男性のための介護セミナー	男性の参画を目的とした介護の基礎講座	2コース×1回/年間 ※1コース/1日間	20
5	県民公開講座	一般県民を対象とした介護知識の普及を図る講座	1日間×1回/年間	50
6	認知症基礎講座	認知症についての正しい知識の普及を図る講座	1日間×3回/年間	40
7	公開専門講座	専門職等を対象として注目度の高いテーマを取り上げ、介護の質の向上を図る講座	1日間×2回/年間	100
8	スキルアップ講座	専門職を対象としたテーマ別の介護講座	5コース×2回/年間 ※1コース/1日間	40
9	ポジショニング講座	人の動きを理解し、支援するための概念や技術を学ぶ	2日間×3回/年間	20
10	福祉用具プランナー研修	在宅介護に関わる専門職を対象に福祉用具活用の知識を身につける	8日間×1回/年間	40
11	福祉用具・住宅改修研修	福祉用具・住宅改修に関する知識の向上を図り、適正な介護給付とサービスの提供をめざす	2日間×3回/年間	50
12	リフトリーダー養成研修	腰痛予防等を目的とし、リフト等福祉用具導入推進のための人材養成を行う	2日間×1回/年間	30

イ 高齢者生活支援のための意識啓発 (情報収集・提供) (814千円)

介護の知識・技術に関する専門情報を県民や介護専門職員等に広く提供し、高齢者介護の普及啓発を図る。

- (ア) 介護の知識・技術にかかるDVD・ビデオの貸出し
- (イ) センター概要・講座案内パンフレットの作成配布
- (ウ) 財団の情報誌、新聞、テレビへの介護・福祉用具情報の提供
- (エ) 講座開催における講師の選定や企画に関する相談
- (オ) 県民各層に対する高齢者介護意識の啓発

(2) 事業推進および管理運営のための事務費 (6, 538千円)

2 事業運営人件費 (18, 105千円)

事業推進及び管理運営のための人件費

第3 静岡県総合健康センター運営事業

(103,727千円)

県民の健康づくりを促進するため、健康科学に立脚した健康づくりの総合施設として、健康づくりに関する調査・研究、情報収集提供をはじめ、県健康福祉センターや市町保健センターへの技術的指導、指導者養成等を行うとともに、県民が気軽に健康づくりを実践できる施設を目的としている。

1 静岡県総合健康センター事業 (6,885千円)

(1) 調査・研究事業 (960千円)

健康づくりを科学的根拠に基づいて促進するため、大学や研究機関等との連携を図りつつ、健康に関する基礎的調査、生活習慣病予防のための疫学的研究等を行い、その成果を県健康福祉センター、市町保健センター及び県民に還元する。

ア 健康づくり研究会議等の開催

調査研究テーマについて検討、研究計画の倫理的観点及び科学的観点からの審査等を行う。

- ・健康づくり研究会議、調査研究倫理審査委員会

イ 調査・研究テーマ

(ア) 静岡県市町別健康指標 (XIX) の作成

標準化死亡比 (SMR) を中心とした保健統計を市町別もしくは2次医療圏域別に算出し、マップ化等を行う。

(イ) 生活習慣病予防のための疫学研究

a 活動的余命と身体・心理・社会的要因の関連研究

高齢者生活実態調査 (第1回 (平成11年度) ~第4回 (20年度)) の分析・まとめを行う。

b 幼児及び保護者の生活習慣と身体状況の関連研究 (新規)

幼児及び保護者の生活習慣及び身体状況の実態を把握することで、生活習慣と身体状況の関連性を明らかにするとともに、効果的な肥満等予防のプログラム開発等の支援方法を検討する。(平成22年度は研究実施に向けた調査方法を検討)

(2) 情報収集・提供事業 (540千円)

健康に関する各種情報の収集分析等を行い、調査研究に活用するとともに、その情報を県民及び県健康福祉センター、市町保健センター等に提供する。

ア 基礎データ等の蓄積・収集

(ア) 基礎データの蓄積

文献検索システム・関係機関刊行物・インターネット等を活用し各種基礎データを蓄積する。

(県・市町の人口・人口動態・平均寿命等)

イ 健康情報の発信・提供

(ア) インターネットホームページによる情報提供

県健康福祉センター・市町、県民に対し、蓄積した情報をインターネットにより提供する。

(イ) 健康づくり相談

県民の健康づくりに関する専門の相談に応じるとともに、健康情報に関する照会に応じる体制を整備し、県健康福祉センター・市町の相談窓口の支援を図る。(随時実施)

(3) 指導者養成・研修事業 (300千円)

県民一人ひとりの健康状態に応じた健康づくりの効果的推進と、適切な指導を行うことのできる健康づくり指導者の養成・研修及び県健康福祉センター・市町職員の資質向上を図るための研修を行う。

ア 健康づくり運動指導者の研修

健康運動指導の理論と技術の向上等、指導者の資質の向上を図るため、健康づくりのための運動指導等に関わる県・市町及び県健康・体力づくり施設の関係者等を対象に研修を実施する。

・日数：2回2日程度

(4) 普及啓発・相談事業 (2,205千円)

県民の健康づくりの意識高揚と実践を推進するため、健康づくりの普及啓発活動を行う。

ア 啓発資料の作成

(ア) 情報誌の発行

総合健康センターだより「すこやか大陸」を年3回程度発行し、県民に対しわかりやすく適正な健康情報を提供する。

(イ) 啓発活動

全県の健康づくりイベントに出展し、県民への啓発活動を行う。

イ ITを活用した生活習慣定着プログラムの普及

生活習慣定着プログラム（アイエクサ）をインターネット上（パソコン及び携帯電話）で展開し、市町への普及及び県民の健康づくりの支援を行う。

ウ 健康教育

市町・学校・健康関連団体等の依頼により、総合健康センター職員が所内外において講演及び運動実技指導を行い、県民の健康づくりを推進する。

エ 静岡県健康・体力づくり施設連絡協議会の運営

県内の健康運動施設（加盟31施設）をネットワーク化し、健康づくり事業の効果的な展開を図る。

(5) 健康づくり推進事業 (2,880千円)

大腰筋等（認知動作型）トレーニングシステムによる研究成果をもとに県内市町等への地域展開及び指導者養成を行う。

ア 地域展開（市町支援）

研究成果をもとに、健康筋力づくりプログラム・マニュアルの市町等への普及等、地域への展開を図る。

(ア) 健康筋力づくりプログラム（マニュアル）展開

・中高年者の歩行能力向上

(イ) 運動プログラムの発展的活用（新規）

・プログラム終了後の運動習慣定着指導手法の検証

・改訂版介護予防マニュアル等も加味した運動指導用プログラム等開発

(ウ) 市町等技術支援

・技術支援、講師派遣、普及啓発等 ほか

イ 指導者養成

(ア) スポーツウェルネス指導者資質向上研修

大腰筋トレーニングシステムの理論等を習得した指導者スキルアップを図る。

(イ) 健康づくり・介護予防実務者（資質向上）実践研修（新規）

新しい運動指導マニュアルを活用した実務者の研修を実施する。

2 健康増進教室等事業（1, 118千円）

研究成果から得られた運動等プログラムの地域展開の一環として、県民の健康増進のための教室等を行う。（参加者負担金、自主財源を財源に実施）

(1) 健康増進トレーニング教室

・ 2コース 延5回程度

3 不妊専門相談センター運営事業（3, 900千円）

不妊治療等に対する相談体制を整備するため、不妊専門相談センターを運営し、電話相談・面接相談を実施する。

(1) 電話相談（週2回、火・金曜日）

(2) 面接相談（年24回、金曜日）

4 総合健康センター事業運営人件費（41, 653千円）

事業推進及び管理運営のための人件費

5 総合健康センター運営維持管理事業（50, 171千円）

事業推進及び管理運営（施設開放等）のための事務費

第4 しずおか健康いきいきフォーラム21運営事業

(24,205千円)

しずおか健康創造21アクションプランの戦略である「県民運動の展開」と「連携協働で進める健康づくり」を推進するために、官民59組織で構成し各構成組織の自主活動の積極的な展開及び連携・協働による事業推進の強化を図るとともに、県民総参加の健康づくり運動を推進することを目的として平成14年に設立された「しずおか健康いきいきフォーラム21」の事務局を担当する。

1 しずおか健康いきいきフォーラム21運営事業 (9,820千円)

(1) 県民への「健康づくり運動」の普及啓発・情報提供事業 (6,760千円)

健康づくりに関するコンクール等を実施し作品を利用した広報・啓発活動、健康づくりに関する各種催しへの出展や開催等を団体、企業、行政機関と連携しながら実施する。

- ア 健康づくりに関するポスター・標語・川柳コンクールの実施
- イ コンクール作品の活用(カレンダー、クリアホルダー等)
- ウ ホームページによる情報提供
- エ 健康づくり講演会の開催
- オ 健康づくりイベントへの出展
- カ 食育の推進(幼児～高齢者等)

(2) 構成組織・民間事業者「健康づくり運動」の促進事業 (1,733千円)

構成組織の健康づくりや県民を対象に健康づくり活動を行うサポーター(事業所、施設、店舗等)の募集を行い、連携・協働事業を促進する。

- ア しずおか健康づくりサポーターの募集及びサポーターとの連携・協働
- イ 健康づくり活動費助成(ボランティア団体等による活動への助成)
- ウ 連携・協働のつどいの開催
- エ 構成組織健康づくり活動報告集の作成及び活動報告会の開催
 - * 団体・企業等と積極的に協働する。

(3) 事務局運営 (1,327千円)

- ア 総会・幹事会の開催
- イ その他運営に係る諸活動

2 事業運営人件費 (14,385千円)

事業推進及び管理運営のための人件費

第5 特別会計

「はつらつネットふじのくに」会員事業

(9,003千円)

高齢社会における、県内高齢者の豊かなセカンドライフの創造を目指し、健康の増進、新たな生きがいづくりに対するきっかけづくり等となる企画事業を実施し、会員の相互交流促進を図りながら、明るく活力ある長寿社会づくりを推進する。

【会員区分】	個人会員	会費年額	3,000円
	ペア会員	会費年額	4,000円
	法人会員	会費年額	30,000円

【会員数】	個人会員	420人
	ペア会員	143組
	団体会員	26社

(平成22年1月末現在)

1 自主事業の実施

会員の健康増進及び積極的な社会参加を推進するため、社会施設見学、芸術鑑賞、健康ウォーキング等多彩な事業を実施する。(年間13事業)

- ・クレマチスの丘と美術館散策(長泉町)
- ・長者ヶ原の山つつじウォーク(南伊豆町)
- ・ごんぎつねと蔵のある風景(愛知県半田市)
- ・小田原城と石垣一夜城ウォーク(神奈川県小田原市)
- ・SLで行く大井川沿線散策(川根本町)
- ・奥浜名湖の名刹庭園巡り(浜松市)
- ・横須賀城跡と町並みウォーク(掛川市)
- ・宝塚歌劇鑑賞(東京都)
- ・サンドバイパス(福田港)と農林技術研究所 季節の作物お買い物(袋井市・磐田市)
- ・富士山静岡空港発着FDAで行く金沢歴史探訪日帰り弾丸ツアー(石川県)
- ・新春歌舞伎鑑賞(東京都)
- ・富士養鱒場と朝霧高原野外活動センター(富士宮市)
- ・甲斐路しだれ桜ウォーク(山梨県三郷町)

近隣地域の会員の交流促進を目的に地域会員限定のサロン事業を実施する。(県内4地区 各1回)

- ・富士市吉原宿まちなか散策(東部地区)
- ・伊東市お湯かけ七福神と東海館巡り(伊豆地区) ほか

2 情報提供

実施企画に関する会員への周知や法人会員の広報等を目的とした会報を編集発行する。